

安全データシート

ISH Pepsin Kit, Part Number G9411A

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: ISH Pepsin Kit, Part Number G9411A
品番 (化学検査キット)	: G9411A
部品番号	: Pepsin 5190-7748 Pepsin Diluent (10X) 5190-7749
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637
化学製品の推奨される用途	: 分析試薬。 Pepsin 48 ml (2 mg/ml) Pepsin Diluent (10X) 48 ml

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

Pepsin

H226	引火性液体 - 区分3
H317	皮膚感作性 - 区分1
H361	生殖毒性 - 区分2
H371	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) - 区分2
H373	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分2
H401	水生環境有害性 短期 (急性) - 区分2
H411	水生環境有害性 長期 (慢性) - 区分2

Pepsin Diluent (10X)

H225	引火性液体 - 区分2
H315	皮膚刺激性 - 区分2
H319	眼刺激性 - 区分2A
H317	皮膚感作性 - 区分1
H361	生殖毒性 - 区分2
H370	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) - 区分1
H335	特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (気道刺激性) - 区分3
H372	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分1
H400	水生環境有害性 短期 (急性) - 区分1
H410	水生環境有害性 長期 (慢性) - 区分1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

: Pepsin



Pepsin Diluent (10X)



注意喚起語

: Pepsin
Pepsin Diluent (10X)

警告
危険

危険有害性情報

: Pepsin

H226 - 引火性液体及び蒸気
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H371 - 臓器の障害のおそれ
H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性
Pepsin Diluent (10X)
H225 - 引火性の高い液体及び蒸気

2. 危険有害性の要約

注意書き

安全対策

: Pepsin

H315 - 皮膚刺激
 H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H319 - 強い眼刺激
 H335 - 呼吸器への刺激のおそれ
 H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 H370 - 臓器の障害
 H372 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
 H410 - 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

Pepsin Diluent (10X)

P201 - 使用前に取扱説明書を入手 すること。
 P202 - 全ての安全注意を読み理解 するまで取り扱わないこと。
 P280 - 保護手袋、保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。
 P210 - 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P273 - 環境への放出を避けること。
 P260 - 蒸気を吸入しないこと。
 P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。
 P272 - 汚染された作業衣は作業場 から出さないこと。
 P201 - 使用前に取扱説明書を入手 すること。
 P202 - 全ての安全注意を読み理解 するまで取り扱わないこと。
 P280 - 保護手袋、保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。
 P210 - 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P271 - 屋外又は換気の良い場所で だけ使用すること。
 P273 - 環境への放出を避けること。
 P260 - 蒸気を吸入しないこと。
 P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。
 P272 - 汚染された作業衣は作業場 から出さないこと。

応急措置

: Pepsin

Pepsin Diluent (10X)

P391 - 漏出物を回収すること。
 P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 P303 + P361 + P353 - 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
 P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
 P333 + P313 - 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
 P391 - 漏出物を回収すること。
 P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
 P304 + P340, P312 - 吸入した場合: 空気の新鮮な 場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
 P303 + P361 + P353 - 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
 P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
 P333 + P313 - 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
 P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける こと。
 P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。

保管

: Pepsin
Pepsin Diluent (10X)

P405 - 施錠して保管すること。
 P405 - 施錠して保管すること。
 P403 + P233 - 換気の良い場所で保管する こと。容器を密閉しておくこと。

2. 危険有害性の要約

廃棄	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。 P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。
補足的なラベル要素	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。
その他の危険有害性	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : Pepsin 混合物
Pepsin Diluent (10X) 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
Pepsin				
プロパン-2-オール	≤10	67-63-0	2-207	2-(8)-319
ペプシンA	≤10	9001-75-6	情報なし。	情報なし。
2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	≤10	55965-84-9	(5)-5235; (9)-378	(5)-5235; (9)-378
Pepsin Diluent (10X)				
プロパン-2-オール	≥60 - ≤70	67-63-0	2-207	2-(8)-319
2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	≤10	55965-84-9	(5)-5235; (9)-378	(5)-5235; (9)-378
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	≤10	9002-92-0	7-97	(7)-97

4. 応急措置

吸入した場合	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。</p> <p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。</p>
---------------	--	---

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: Pepsin	多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
	Pepsin Diluent (10X)	多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
眼に入った場合	: Pepsin	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。暴露後または気分が悪いときは医師の手当てを受けること。必要に応じて医師に連絡する。
	Pepsin Diluent (10X)	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。
飲み込んだ場合	: Pepsin	水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
	Pepsin Diluent (10X)	水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。必要に応じて医師に連絡する。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合	: Pepsin	吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。
	Pepsin Diluent (10X)	吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。呼吸器への刺激のおそれ
皮膚に付着した場合	: Pepsin	皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	Pepsin Diluent (10X)	皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
眼に入った場合	: Pepsin	重大な作用や危険有害性は知られていない。
	Pepsin Diluent (10X)	強い眼刺激
飲み込んだ場合	: Pepsin	飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。
	Pepsin Diluent (10X)	飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こす。

過剰にばく露した場合の徴候症状

4. 応急措置

吸入した場合	: Pepsin	有害症状には以下の症状が含まれる: 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
	Pepsin Diluent (10X)	有害症状には以下の症状が含まれる: 気道刺激性 咳 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
皮膚に付着した場合	: Pepsin	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 充血 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
	Pepsin Diluent (10X)	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 充血 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
眼に入った場合	: Pepsin	特にデータは無い。
	Pepsin Diluent (10X)	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 流涙 充血
飲み込んだ場合	: Pepsin	有害症状には以下の症状が含まれる: 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
	Pepsin Diluent (10X)	有害症状には以下の症状が含まれる: 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
応急処置をする者の保護	: Pepsin	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
	Pepsin Diluent (10X)	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: Pepsin	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
	Pepsin Diluent (10X)	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: Pepsin	粉末化学消火剤、炭酸ガス、水噴霧、泡消火剤を使用します。
	Pepsin Diluent (10X)	粉末化学消火剤、炭酸ガス、水噴霧、泡消火剤を使用します。
使ってはならない消火剤	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	ウォータージェットを使用してはならない。 ウォータージェットを使用してはならない。

5. 火災時の措置

特有の危険有害性	: Pepsin	引火性液体及び蒸気 流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
	Pepsin Diluent (10X)	引火性の高い液体及び蒸気 流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。本製品は水生生物に対して非常に有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
有害な熱分解生成物	: Pepsin	分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素
	Pepsin Diluent (10X)	分解生成物には以下の物質が含まれることがある： 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 ハロゲン化合物
特有の消火方法	: Pepsin	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
	Pepsin Diluent (10X)	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: Pepsin	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。
	Pepsin Diluent (10X)	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について	: Pepsin	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
	Pepsin Diluent (10X)	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。

6. 漏出時の措置

緊急時対応要員について

: Pepsin

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

Pepsin Diluent (10X)

流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

: Pepsin

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

Pepsin Diluent (10X)

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: Pepsin

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。こぼれた物質は、炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム及び水酸化ナトリウムで中和する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

Pepsin Diluent (10X)

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。こぼれた物質は、炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム及び水酸化ナトリウムで中和する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項

: Pepsin

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。暴露を避けること一使用前に取扱説明書入手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。防爆型の電気装置(換気設備、照明用具、物質取扱い用具)を使用する。火花を発生させない工具を使用すること。静電気防止対策を講じる。アルカリ類に近づけないこと。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

Pepsin Diluent (10X)

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。暴露を避けること一使用前に取扱説明書入手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。防爆型の電気装置(換

7. 取扱い及び保管上の注意

衛生対策

: Pepsin

Pepsin Diluent (10X)

気設備、照明用具、物質取扱い用具)を使用する。火花を発生させない工具を使用すること。静電気防止対策を講じる。アルカリ類に近づけないこと。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件

: Pepsin

Pepsin Diluent (10X)

現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。あらゆる発火源を除去する。アルカリ類に近づけない。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。あらゆる発火源を除去する。アルカリ類に近づけない。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 換気が十分な場所でのみ使用する。ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

ばく露限界

化学名又は一般名	ばく露限界値
Pepsin プロパン-2-オール	日本産業衛生学会 (日本, 9/2021)。 OEL-C: 400 ppm OEL-C: 980 mg/m ³ 労働安全衛生法 (日本, 6/2020)。 管理濃度: 200 ppm 8 時間。
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール	日本産業衛生学会 (日本, 9/2021)。 OEL-C: 400 ppm OEL-C: 980 mg/m ³ 労働安全衛生法 (日本, 6/2020)。 管理濃度: 200 ppm 8 時間。

生物学的暴露指数

認知済みのものは無し。




保護具

8. ばく露防止及び保護措置









- 呼吸用保護具** : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。
- 眼、顔面の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。
- 皮膚及び身体の保護具** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観																																																								
物理状態	: Pepsin 液体 Pepsin Diluent (10X) 液体																																																							
色	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
臭い	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
臭いのしきい値	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
pH	: Pepsin 2 Pepsin Diluent (10X) 2																																																							
融点/凝固点	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
沸点又は初留点及び沸点範囲	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
引火点	: Pepsin 密閉式: 37.8 から 61°C (100 から 141.8°F) Pepsin Diluent (10X) 密閉式: -18 から 23°C (-0.4 から 73.4°F)																																																							
燃焼点	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
蒸発速度	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
可燃性	: Pepsin 該当しない Pepsin Diluent (10X) 該当しない																																																							
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							
蒸気圧	: <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">化学名又は一般名</th> <th colspan="3">20°Cの蒸気圧</th> <th colspan="3">50°Cの蒸気圧</th> </tr> <tr> <th>mm Hg</th> <th>kPa</th> <th>方法</th> <th>mm Hg</th> <th>kPa</th> <th>方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> Pepsin</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プロパン-2-オール</td> <td>33</td> <td>4.4</td> <td></td> <td>177</td> <td>23.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>23.8</td> <td>3.2</td> <td></td> <td>92.258</td> <td>12.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Pepsin Diluent (10X)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プロパン-2-オール</td> <td>33</td> <td>4.4</td> <td></td> <td>177</td> <td>23.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>23.8</td> <td>3.2</td> <td></td> <td>92.258</td> <td>12.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧			mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法	 Pepsin							プロパン-2-オール	33	4.4		177	23.6		水	23.8	3.2		92.258	12.3		Pepsin Diluent (10X)							プロパン-2-オール	33	4.4		177	23.6		水	23.8	3.2		92.258	12.3	
化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧																																																				
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法																																																		
 Pepsin																																																								
プロパン-2-オール	33	4.4		177	23.6																																																			
水	23.8	3.2		92.258	12.3																																																			
Pepsin Diluent (10X)																																																								
プロパン-2-オール	33	4.4		177	23.6																																																			
水	23.8	3.2		92.258	12.3																																																			
相対ガス密度	: Pepsin 情報なし。 Pepsin Diluent (10X) 情報なし。																																																							

9. 物理的及び化学的性質

相対密度	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	情報なし。 情報なし。								
溶解度	: <table border="1"> <thead> <tr> <th>メディア</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  Pepsin 水 Pepsin Diluent (10X) 水 </td> <td>可溶性 可溶性</td> </tr> </tbody> </table>	メディア	結果	 Pepsin 水 Pepsin Diluent (10X) 水	可溶性 可溶性					
メディア	結果									
 Pepsin 水 Pepsin Diluent (10X) 水	可溶性 可溶性									
n-オクタノール／水分配係数	:  Pepsin Pepsin Diluent (10X)	該当しない 該当しない								
自然発火点	: <table border="1"> <thead> <tr> <th>化学名又は一般名</th> <th>°C</th> <th>F</th> <th>方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  Pepsin プロパン-2-オール Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール </td> <td>456 456</td> <td>852.8 852.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	化学名又は一般名	°C	F	方法	 Pepsin プロパン-2-オール Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール	456 456	852.8 852.8		
化学名又は一般名	°C	F	方法							
 Pepsin プロパン-2-オール Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール	456 456	852.8 852.8								
分解温度	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	情報なし。 情報なし。								
粘度	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	情報なし。 情報なし。								
粒子特性										
中央粒径値	:  Pepsin Pepsin Diluent (10X)	該当しない 該当しない								
その他のデータ										
追加情報なし										

10. 安定性及び反応性

反応性	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。 この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	製品は安定である。 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	いかなる発火源（火花あるいは炎）にも近づけてはならない。加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近づけてはならない。 いかなる発火源（火花あるいは炎）にも近づけてはならない。加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近づけてはならない。
混触危険物質	: Pepsin Pepsin Diluent (10X)	空気と混合して爆発性混合物を生成する可能性のある、極度に引火性の水素ガスを生成しながら、他種類の金属を腐食させる。 次の物質と反応性あるいは危険配合性： アルカリ 酸化性物質 空気と混合して爆発性混合物を生成する可能性のある、極度に引火性の水素ガスを生成しながら、他種類の金属を腐食させる。 次の物質と反応性あるいは危険配合性： アルカリ

10. 安定性及び反応性

酸化性物質

危険有害な分解生成物

: Pepsin

通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

Pepsin Diluent (10X)

通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
Pepsin プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	LD50 経皮 LD50 経口 LC50 吸入した場合 蒸気	ウサギ ラット ラット	12800 mg/kg 5000 mg/kg 0.33 mg/l	- - 4 時間
	LD50 経皮 LD50 経口	ウサギ ラット	87.12 mg/kg 53 mg/kg	- -
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	LD50 経皮 LD50 経口 LC50 吸入した場合 蒸気	ウサギ ラット ラット	12800 mg/kg 5000 mg/kg 0.33 mg/l	- - 4 時間
	LD50 経皮 LD50 経口	ウサギ ラット	87.12 mg/kg 53 mg/kg	- -
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	LD50 経皮	ラット - オス、メス	>2000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット - メス	1000 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん/ミスト) (mg/l)
Pepsin プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	5000 53	12800 87.12	N/A N/A	72.2 0.5	N/A N/A
	5000 53	12800 87.12	N/A N/A	72.2 0.5	N/A N/A
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	1000	2500	N/A	N/A	N/A

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
Pepsin プロパン-2-オール	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 750 ug	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-

11. 有害性情報

	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
--	-------------	-----	---	--------------	---

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

情報なし。

発がん性

情報なし。

生殖毒性

情報なし。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Pepsin プロパン-2-オール ペプシンA	区分1 区分3 区分3	- -	中枢神経系、全身性 気道刺激性 気道刺激性
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	区分1 区分3 区分3	- -	中枢神経系、全身性 気道刺激性 麻酔作用

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	カテゴリー	暴露経路	標的器官
Pepsin プロパン-2-オール	区分1 区分2	-	血液系 肝臓、呼吸器、脾臓
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール	区分1 区分2	-	血液系 肝臓、呼吸器、脾臓

誤えん有害性

情報なし。

その他の情報

: **Pepsin**

Pepsin Diluent (10X)

有害症状には以下の症状が含まれる: 繰り返し接触すると、皮膚が乾燥するか、ひび割れることがある。
情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
Pepsin プロパン-2-オール	急性 EC50 7550 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	急性 LC50 1400000 µg/l 海水	甲殻類 - Crangon crangon	48 時間
	急性 LC50 4200 mg/l 真水	魚類 - Rasbora heteromorpha	96 時間
	急性 LC50 0.16 mg/l 真水	ミジンコ類	48 時間
	急性 LC50 0.19 mg/l 真水 慢性 NOEC >0.0464 mg/l 真水	魚類 魚類	96 時間 96 時間
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール	急性 EC50 7550 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 1400000 µg/l 海水	甲殻類 - Crangon crangon	48 時間

12. 環境影響情報

2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	急性 LC50 4200 mg/l 真水 急性 LC50 0.16 mg/l 真水	魚類 - Rasbora heteromorpha ミジンコ類	96 時間 48 時間
ポリ(オキシエチレン) = ドデシル = エーテル	急性 LC50 0.19 mg/l 真水 慢性 NOEC >0.0464 mg/l 真水 急性 LC50 6460 µg/l 真水 急性 LC50 1500 µg/l 真水	魚類 魚類 ミジンコ類 - Daphnia magna 魚類 - Salmo salar - パー(幼鮭)	96 時間 96 時間 48 時間 96 時間

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
Pepsin 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	OECD 301B Ready Biodegradability - CO ₂ Evolution Test	62 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-
Pepsin Diluent (10X) 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	OECD 301B Ready Biodegradability - CO ₂ Evolution Test	62 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
Pepsin プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	- - -	- - -	容易 容易
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	- - -	- - -	容易 容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
Pepsin プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	0.05 0.326	- -	低 低
Pepsin Diluent (10X) プロパン-2-オール 2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	0.05 0.326	- -	低 低

土壌中の移動性

: 情報なし。

オゾン層への有害性

: 該当しない

他の有害影響


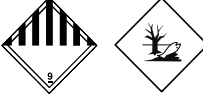

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要があります。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
UN番号	UN3316	UN3316	UN3316
品名	CHEMICAL KIT	CHEMICAL KIT	Chemical kit
国連分類 クラス	9 	9 	9 
容器等級	II	II	II
環境有害性	はい。環境面での危険物質として明記する必要はありません。	はい。	はい。環境面での危険物質として明記する必要はありません。

追加情報

UN : 特別条項 251, 340
 IMDG : ≤5 L 又は ≤5 kgのサイズで輸送する場合には、海洋汚染物質マークは要求されない。
 緊急時スケジュール F-A, S-P
 特別条項 251, 340

IATA : 他の輸送規制によって要求される場合には、環境有害性マークが付くことがある。
 数量制限 旅客および貨物輸送機: 10 kg。梱包に関する指示: 960。貨物専用輸送機: 10 kg。梱包に関する指示: 960。数量制限—旅客機: 1 kg。梱包に関する指示: Y960。
 特別条項 A44, A163

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名/種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
Pepsin 第四類危険物	第二石油類(水溶性)	III	火気厳禁	2000 L
Pepsin Diluent (10X) 第四類危険物	第一石油類(水溶性)	II	火気厳禁	400 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

有機溶剤中毒予防規則 : 第二種

15. 適用法令

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
Pepsin プロピルアルコール	該当	494
Pepsin Diluent (10X) プロピルアルコール	該当	494

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
Pepsin プロピルアルコール	該当	494
Pepsin Diluent (10X) プロピルアルコール	該当	494

労働安全衛生法施行令 別表 : 引火性
第一 危険物

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
Pepsin イソプロピルアルコール (アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)と α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル α -アルキル(C12~15)- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	優先評価化学物質 優先評価化学物質 優先評価化学物質	102 222 189
Pepsin Diluent (10X) イソプロピルアルコール (アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)と α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル α -アルキル(C12~15)- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	優先評価化学物質 優先評価化学物質 優先評価化学物質	102 222 189

毒物及び劇物取締法

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) - 2023年3月まで

非該当

化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から

非該当

道路法

: 該当

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2023/03/23

前作成日 : 2020/02/24

バージョン : 5

略語の解説

: ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
UN = 国際連合

16. その他の情報

分類を行うために使用する手順

分類	由来
Pepsin 引火性液体 - 区分3 皮膚感作性 - 区分1 生殖毒性 - 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2 水生環境有害性 短期(急性) - 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) - 区分2	試験データに基づく 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法
Pepsin Diluent (10X) 引火性液体 - 区分2 皮膚刺激性 - 区分2 眼刺激性 - 区分2A 皮膚感作性 - 区分1 生殖毒性 - 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露)(気道刺激性) - 区分3 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分1 水生環境有害性 短期(急性) - 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) - 区分1	試験データに基づく 専門家の判断 専門家の判断 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。